

令和元年度 第3回 大阪市立堀江中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立堀江中学校

校園長名 山本 裕康

日 時	令和2年3月5日（水）18時30分～20時00分（1時間30分）			
場 所	大阪市立堀江中学校 1階 会議室			
出席者	委員 など	長岡 繢（委員） 丹羽憲一郎（委員）	川村美代子（委員） 宮地 秀和（委員）	末友 良紀（委員） 岸田 匠史（委員）
	校園	山本 裕康（校長）	寺田 元幸（副校長）	階戸 祥子（教頭）
	区役所	江原 勝弘（課長）		
議題	(1) 令和元年度「運営に関する計画」（最終反省）について (2) 令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣調査」結果について (3) 学校関係者評価について (4) その他			
協議要旨	協議の結果		意見の概要	
	(1)	○「運営に関する計画」（最終反省）について説明し概ね理解を得た。	○不登校生徒の数が昨年度よりも増加しているのが心配である。家庭環境の変化、価値観の多様化、ネット依存等による無気力などに起因するとのことだが、将来に向けてのいずれかのステージで自分のやりたいことを見つけるよう、学校としてもあらゆる手段で支援していただきたい。 ○学校の取組が充実しているので、今後も生徒の豊かな成長を期待している。 ○習熟度別の学習等で、低学力の生徒への手厚いサポートについてもさらにお願いしたい。	
	(2)	○「検証シート」を基に結果、成果と課題、今後の取組について説明し概ね理解を得た。	○体力・運動能力については今年も課題があるが、劣悪な環境の中でも工夫をして体育授業および部活動が実施されている。日々の体育の授業の成果も上がり、特に男子においては前年度より持久力の数値は改善された。 ○健康な生活アンケートより、手洗い・うがいの習慣がついてきたことが成果であった。しかし、スマートなどの電子機器の使用時間等、改善しなければならない点も多く、保護者と連携を密にして、体力向上・健康増進に向けて指導をお願いする。	
	(3)	○学校関係者評価について	○学校評価で得られた結果や「運営に関する計画」（最終反省）、全国体力・運動能力等の結果を真摯に受け止めながら、課題を明確にして今後の学校経営に生かしていくほしい。	
協議資料	○令和元年度「運営に関する計画」（最終反省） ○令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート ○令和元年度「学校評価～アンケート結果と考察～」 ○令和元年度「堀江中学校のあゆみ」			
備考	傍聴者[0]名			

